

## 「G I G Aスクール構想」実現に向けた継続的な支援について

九州部会提出  
説明担当 宗像市

令和2年度補正予算等により「G I G Aスクール構想」が加速され、「1人1台端末」の早期実現や家庭でも繋がる通信環境の整備が進められている。1人1台端末の導入が急ぎょ決定したことから、I C T教育に向けた準備・運用(授業での使用方法、日常のメンテナンス等)が追いついておらず、また、昨年度から小学校では新学習指導要領が全面実施となり、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的にI C Tを活用していくことが想定され、端末の管理やトラブル対応、授業での教員の指導を支えるI C T支援員等の増員や配置が必要不可欠である。

また、「1人1台端末」の学習効果を最大限に発揮するための周辺機器や学習支援ソフトなどのハード・ソフト面での環境整備、導入後に生じるネットワーク及び端末整備後の機器の保守管理等の維持に係る経費や更新費など、耐用年数やランニングコストを踏まえた長期的な経費の計上が必要であり、また、1人1台端末整備に伴う通信量の増加に対応できる校外通信ネットワーク整備等が必要である。

よって、「G I G Aスクール構想」を円滑かつ効果的に、また、継続的に実現するために、学校現場等における継続した環境整備並びに通信料及び端末機器の更新を含めた運用に対する財政措置の充実を要望し、特に下記の事項に係る費用については、長期的な措置を講じることを強く要望する。

### 記

- 1 インターネット通信ネットワーク整備及び維持管理
- 2 セキュリティ対策
- 3 各種ソフトウェアや端末機器の更新
- 4 学習プラットフォームの導入
- 5 家庭学習における通信料
- 6 授業目的公衆送信補償金への補助
- 7 教育委員会及び学校現場へのI C T機器に精通した人材の配置に係る補助